

★★★地域の情報について★★★★★★★★★★★★★★

バリアフリーねぶた 弘前やーやどー会 今年も出陣！真夏の夜に感動を

弘前市社会福祉協議会が主催する『バリアフリーねぶた 弘前やーやどー会』が今年も盛大に出陣しました。8月1日、熱気あふれる土手町に力強い「やーやどー」の掛け声が響き渡り、多くの観客が感動に包まれました。ねぶた祭りを通じて誰もが笑顔で参加できるバリアフリーの取り組みは、弘前の新たな夏の感動を生み出しています。関係者、参加者の皆様、本当に大変お疲れ様でした。

来年もまた弘前の夜を照らすことを楽しみにしています。



堀内ピアカンの皆さんにつぶやきたい ～ピンクの車いすマークタクシー～

車椅子に乗ったままで、ジャパントクシーに乗ってみました。毎年市役所からタクシーの割引チケットが配布されるのですが、車椅子のままで乗れるタクシーが、個人で営業しているのは1社しかなくなかなか予約が取れず1枚も使わず捨てていました。2020年東京オリンピックの開催の前に、多く導入されたジャパントクシーの紹介で、車椅子に乗ったまま乗り込む映像が記憶に残っていたので、弘前市内でジャパントクシーを多く保有する北星交通のヘルパーさんに、車椅子のまま乗れるのかを聞いてみました。すると乗車訓練を受けている運転手が数十名いるとのこと、早速予約をして乗ってみました。車が到着するとトランクから取り出したスロープを取り付けスムーズに乗車ができとても快適でした。北星交通さんによるとピンクの車椅子マークのタクシーには、専門の運転手が常駐しているとのことでした。ぜひ一度体験してみたいかがでしょうか。



編集後記

暑かった夏も終わり、秋の気配を感じる今日この頃。バリアフリーねぶたの熱気から、味噌玉づくりやアロマの癒しへ。この号が、弘前に息づく優しい心と、暮らしを彩るさまざまな活動の魅力をお届けできれば幸いです。



弘前市障害者生活支援センター情報誌

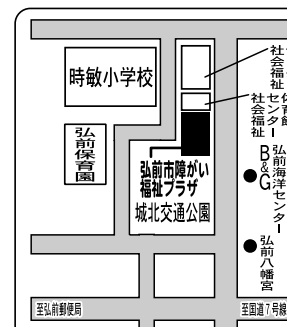
ぷらっと

第238号
10・11月号

発行日
令和7年10月1日

当センターは…診断や手帳の有無、障がい種別や年齢に関係なくご相談をお受けする総合相談窓口です。発達が気になりなお子さんについてご相談下さい。7・8月の相談件数は198件、相談実人員は31名でした。相談無料・秘密厳守ですので、お気軽にご相談下さい(匿名でもご相談いただけます)。

- ◆住所 弘前市大字八幡町1丁目9番地17(弘前市障がい福祉プラザ)(hirosaki-ssc@tenor.ocn.ne.jp)
- ◆電話 0172-31-2400 FAX 0172-31-2411
- ◆開館時間 9:00～17:00(開館時間以外は、バックアップ施設山郷館につながります)
- ◆休館日 毎週月曜日、年末年始 ※来所相談は予約をお願いします



ゆる腸活「味噌玉作り」

(8月21日実施)

ゆる腸活として「味噌玉作り」に総勢11名が挑戦しました。発酵美人インストラクター小田桐梢先生のご指導のもと、楽しく、そして可愛く、健康に良い手作りの味噌玉が完成しました。腸内環境を整える「ゆる腸活」は参加者の皆さんが健康への意識を高める良い機会となりました。



健康講座「香のある暮らし～アロマ活用法」(9月3日実施)

心癒すアロマの世界を体験！健康講座「香りのある暮らし」に8名が参加しました。講師の石岡穂奈美先生に教わり、白檀やイランイランなどの効能豊かなオイルから好きな香りを選びオリジナルスプレーを完成させました。



ものづくり講座「ドライフラワーボールペン&ミニミニリース」(9月17日実施)

二木郁美先生を講師に迎え、ものづくり講座「ドライフラワーボールペン&ミニミニリース」を開催。参加した6名は、ドライフラワーやさざれ石を使って世界に一つだけの素敵なオリジナルボールペンとミニミニリースを完成させました。

